



オークション「ハイ、ヴェルティ・アルシンド選手のユニフォーム」

# チャリティーゴルフ大会大盛況!

## ～骨髄バンク推進の決意も新たに～

去る三月二日、神奈川県の本国際カントリークラブで全国協議会主催の「骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が開催されました。

大会でのチャリティー募金、オークション売り上げなどから収益金五十万円が(財)骨髄移植推進財団に贈呈されました。チャリティーゴルフ大会の企画運営は、神奈川県骨髄移植を考える会が中心となり、関東地区のメンバーの協力により、昨秋から準備が進められてきました。二百名の参加募集に対して、二百四十九名の申し込みがあり、当初予定していた西コース十八ホールに加え、東コースも使われて行なわれました。第一組のスタートは午前七時半、プレイ中のショットホールにはチャリティーホールが置かれ、ワンオンしない参加者は千円のチャリティーが設定されました。しかしほとんどの参加者はティーショットを打つ前にチャリティーボックスに募金し、募金箱はすぐにいっぱいになったほどです。競技終了後チャリティーパー

ティーが開かれましたが、参加者が多かったため、最初にホールアウトしたメンバーは三時間近くもパーティーの開始を待つほどでした。

成績発表と表彰に先立ち、パーティーは海部会長と大谷貴子さんの骨髄バンクをアピールするトークがあり、当日ゴルフ場に花束と共に届けられた手紙が紹介されました。手紙の主は妹さんが骨髄バンクにより骨髄移植を受けた女性からの感動的なもので、参加者はその手紙の披露に聞き入っていました。

そしてチャリティーオークションが行なわれました。オークションのために読売ジャイアンツの選手たちからサインボールやバット、Jリーグのヴェルディ川崎からもユニホーム、ダイエーの王貞治さんからもサインボールの提供があったほか、当日参加できなかった東ちづるさんは特製ゴルフクラブバック、川中美幸さんからはスーツが五着、伊勢正三さんは愛用のギター、その他うつみ宮土理さんや海部元首相の色紙などがずらりと並びました。

オークションのセリ人は大谷さんの担当、あれよあれよという間に次々と掛け声がかかり、セリ値は急上昇しました。おかげさまでオークションは大盛況のうち、全ての品物が高値でセリ落とされました。

まだ肌寒さを感じる一日でしたが、参加者はゴルフを楽しむと共に、骨髄バンクのチャリティーに参加する満足感でいっぱいの様子でした。

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒130 東京都墨田区  
東駒形1-16-7  
第1ホークプラザ303号  
TEL.(03)3625-7307  
発行責任者  
運営委員長 渡辺孝一

中郵便振替口座中  
00150-4-15754  
(変更になりました。御注意を)  
中銀行口座中  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

☆最終同意時に弁護士が立ち合い  
財団では、最終同意時の手続きが適正に行なわれたことを確認するため、骨髄バンクから独立した第三者の立会人が必要であると認識しております。

ドナーの人権保護の観点から、立会人には弁護士が望ましいと考え、財団はもっともコーディネーターが集中している関東地区にある東京弁護士会に対して、弁護士の派遣について検討を依頼してきました。

そしてことし3月6日、財団と東京弁護士会との間で契約が成立しました。東京弁護士会では4月から立合弁護士の募集と研修を行なう予定です。

東京弁護士会に対して弁護士の派遣を依頼するのは、6月頃からになると思われます。なお、東京弁護士会からの派遣は東京及びその近県に限られる模様です。これを契機に他の弁護士会への働きかけも行なっていく予定です。

☆ドナーの登録数は若干回復  
2月の有効ドナー登録数は1,552名で、累計61,044名になりました。登録申し込み数は回復してきていますが、今後とも

着実な普及啓発活動が必要と考えており、一層の協力をお願い致します。

☆2月の移植件数は過去最高の33件  
2月に初めて30例を突破し33例を実施、移植累計も324例になりました。

阪神大地震で大きな被害が発生した阪神地区の移植病院は、関係者の懸命な努力により順調に復旧しています。

[2月末現在検査済ドナー登録者 61,044人]  
[2月末現在患者登録者 2,790人]  
[2月末現在移植件数 324件]  
(2月末現在)

★骨髄バンクへのお問い合わせは★  
フリーダイヤル0120-377-485



## 心からのご寄付を ありがとうございました

2月19日～3月20日まで

匿名	切手	900
安田火災 蕨支社	切手	1,611
松田有利子	切手	225
千葉・東京白子研修会	現金	6,237
阿原一良	現金	10,000
匿名	切手	1,125
伊藤裕子	切手	945
東京海上火災保険株式会社 貢献室	切手	6,600
富士通労働組合ファミコム支部	切手	13,643
岐阜県立盲学校保健医療科	切手	6,314
加藤美和子	切手	16,244

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

全国協議会5周年in名古屋  
—多数の参加をお願いします—

オープニング企画  
4月9日(日)11時～星ヶ丘P&Sスケートリンク  
◆スケートショーや各種演奏  
◆参加者も楽しめるイベントも多数

骨髄バンクパネル展  
4月8日～16日(日)  
セントラルパーク・市民ギャラリー  
◆全国のボランティア活動、世界の骨髄バンク  
◆ドナー相談コーナー、クイズ&アンケート

メイン企画  
4月14日(日)10時～テレビアホール  
◆記念式典  
◆対談「歌舞伎よもやまばなし」  
中村勘九郎&安田文吉  
◆パネルディスカッション  
「命をください～骨髄バンクのボランティアを考える～」  
司会・東ちづる 他

全国協議会代表者会議  
4月15日 14時～16時  
名古屋市勤労婦人センター



心の響きがか  
聞こえてきます。

言葉よりも深く、強く、  
わかりあえる瞬間があります。

伝えあう喜びと通じあえる感動を  
NTTはあなたとともに広げていきます。

# 各地のたより

各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せ下さい。

## 千葉・東京 合同合宿大成功

東京の会と千葉連絡会の二団体合同合宿が二月二十五日と二十六日に千葉九十九里の白子町で三十名の参加で開催されました。

いつもはそれぞれの会でシコシコと活動をしているメンバーですが、同じ屋根の下に泊まり、同じ飯を食うのは全国でも初の試み。東京のメンバーは「千葉はマジメすぎる」その一方千葉

のメンバーは「東京は飲みすぎる」と双方があきれ顔。でも夜ともなると入れ混じって大ピンゴ大会ですごい盛り上がりでした。

とはいうものの、遊んでいたばかりではありません。千葉大の看護婦さんや東大医科研の院長といった講師による勉強のほうもみっちりやって、充実した二日間でした。

さて、今度はこの会と一緒にやるか……。



異様な興奮のビンゴ大会

## 千葉 彩ちゃんの贈り物展に 多数の来場者

三月二十一日から二十六日まで松戸市の文化センターで、彩ちゃんの贈り物展を開催しました。

初日にオープニングセレモニーには、彩ちゃんのご家族、松戸市長、千葉県衛生部の方々をお招きし、テープカットを行いました。

初日は二時から六時の半日にもかかわらず、約三百名の方々が来場され、彩ちゃんの絵に感動し、会場に用意された感想文ノートには多数の方が書き込んでくださいました。



## 苫小牧 ダンスパーティーで バンクPR

第三回「翼をください」ダンスパーティーを二月九日、北海道新聞社、苫小牧民報社、苫小牧赤十字奉仕団の後援を頂き苫小牧骨髄バンク基金として市内のホテルで開催した。

会場入り口には、パネルを展示し、ダンスパーティーの合間に会長のバンクへの協力をお願いの挨拶、並びにビデオを放映して理解を深めて頂きました。ダンスパーティーでは、市内のボランティア連絡協議会所属のバンドグループ二組、社交ダンス愛好者から市民約三百人が生バンド演奏に合わせ、華麗なス



テップを踏んで楽しい一時を過ごしていただきながら、骨髄バンクのPRを盛会に終了させて頂きました。

## 茨城 感動の二時間 水戸で県民の集い

前日の大雪の予報にもかかわらず、何の支障もなく三月四日水戸で「骨髄バンクを知る県民の集い」(県と共催)を開催しました。

基調講演「骨髄バンクについて」のあとドナー体験談発表。「周りの人はドナーになることを止めないで励ましてあげてください」という言葉はこれからドナーになれる方に大変参考になるお話でした。

移植を受けた元患者は、骨髄液が管を通って、一滴一滴落ちるのを見て命の恩人であるドナーに深い感謝の気持ちがあわてきたと元気を来場者に語り



元ザ・ワールドワンスの植田芳隆さん

ました。患者家族からのお願いは、五歳の患児のご両親と七歳の姉が登壇。三才の時に発病し、一年二月の入院の末退院。今年再発。七才の姉が「みなさん、私の妹を助けてください。お願いします。」と涙を流しながら訴えると会場からすすり泣く声があふれてきました。そのあとアニメ映画「金色のクジラ」を上映。映画の中のユウイチのように五歳の妹さんが回復することを祈りつつ観賞。

最後に元ザ・ワールドワンスの植田芳隆さんによる歌「思い出の渚」を聞き、会場の参加者全員で「翼をください」を合唱、感動の二時間の幕を閉じました。元ザ・ワールドワンスの植田芳隆さん

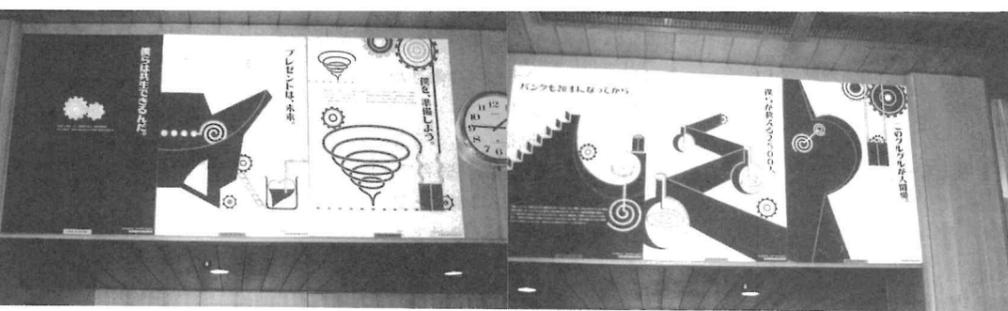
## 武蔵美大生が 新パネル作成

武蔵野美術大学(東京)を今春卒業した近藤佳絵さんが、卒業制作の作品として六枚組の骨髄バンク紹介のパネルを作り大きな反響を呼んでいます。

訴えかける対象をドナーとなつてほしい若者にしぼり、わかりやすく表現しています。白と黒を基調にした濃淡のはっきりした独特のイラストが目を引きます。内容は①このグルぐるが人間愛。②僕らが救える二千五百人。③バンクも二十才になつてから。④僕を、準備しよう。⑤プレゼントは、未来。⑥僕らは共生できるんだ。の六枚です。

東京の会で作成した複製パネルは、チャリティーゴルフ大会でも展示され、多くの人の目を引いていました。また名古屋での五周年大会のポスターやチラシ、トレーナーにもその図柄が採用されています。

また海部会長も作品を見て「これは六枚揃って物語になっているのだから、全部を見せる印刷物も考えてみましょう。これからは若者ですよ」と語っていました。



### 清水真帆さん逝く……

マホネット21―骨髄バンクを支える大学・市民ネットワーク―のシンボリック存在である清水真帆さんが去る二月二十六日永眠されました。

真帆さんは御茶ノ水女子大学在学中の二年前の二月に急性骨髄性白血病を発病し、闘病中の病床から骨髄バンクへの理解を求め運動に立ち上がりました。そして一昨年に公的骨髄バンク

クによるドナーから骨髄を提供され、骨髄移植を受け、一担は退院されましたが、再発して入院治療を続けていました。発病から九二年、移植から一年余り、このたび無念の死を遂げられました。

真帆さんの父であり、マホネット21の代表である独協大学教授清水透さんは「娘の意志を継いで行きたい」と、今後の骨髄

バンク運動への決意を、悲しみの中で語っています。

なお、三月一日・二日に執り行われた通夜と告別式には長蛇の形問答客列を作りました。記帳された参列者だけで七百人、グループで献花された参列者もあり、およそ千人ほどの人々が真帆さんに別れを告げました。

### 頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まつ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

フジテレビ

### 連合通信社 白血病治療

――きょうから明日へ――  
秒進分歩する白血病治療  
第一線の医師が選択する治療法は……  
日本の白血病治療の全体像を紹介する最新情報 二七〇〇円(送料三二〇円)

日本つばさ協会編  
〒105 東京都港区芝1-4-9  
Tel 03-3454-1105  
Fax 03-3454-6559  
直接、連合通信社に

### 「健康」 その大切さを 私たちは知っています。

東京法規出版は、みなさまの健康づくりにお役に立つためのパンフレット、書籍、パネル、ビデオの企画・制作やグッズの販売、セミナーの企画運営を行っています。

〒110 東京都文京区白山1丁目7番6号 電話 03-3814-3851

21世紀の健康づくりを考える  
東京法規出版